
社会福祉法人山口県共同募金会

<団体概要>

・沿革

昭和22年10月6日 山口県共同募金委員会発足
(委員長：山口県知事 田中龍夫)

昭和22年11月25日
～12月25日 第1回共同募金運動実施

昭和27年5月10日 社会福祉法人山口県共同募金会設立認可

昭和27年5月29日 社会福祉法人山口県共同募金会設立登記

・設立目的

たすけあいの精神を基調として、山口県における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図るために、共同募金事業を行うことを目的とする。

・活動内容

共同募金の目標額、受配者の範囲及び配分の方法を決定し、募金を実施するとともに、地域福祉の課題解決に取り組む県内の民間団体からの申請に基づき、公平かつ効果的な配分を行う。また、大規模災害の発生に備え、災害等準備金を積み立て、災害ボランティアセンターの運営等を支援するほか、共同募金に関する広報活動、配分使途の監査等を行う。

<重点事業・重点目標>

1 共感できる募金の推進

共同募金運動80年の節目の年となることから、記念事業等を通じて共同募金の一層の普及啓発を図ります。また、市町共同募金委員会との連携の下、地域の解決すべき福祉課題や県域における支援ニーズ等、募金の目的を明確に示した上で、戸別募金や法人募金、職域募金等の推進を図るとともに、「赤い羽根テーマ募金」や「UMOUプロジェクト in 山口」などの新たな募金手法の充実強化に引き続き取り組みます。

- ・共同募金運動80年記念事業の実施、記念グッズの作成
- ・共同募金運動推進強化特別支援事業による各市町共同募金委員会における共同募金運動80年記念事業の実施支援
- ・羽毛製品の回収強化に向け、市町共同募金委員会と連携した行政等への働きかけ
- ・新しいガチャガチャグッズの作成・活用
- ・QRコード決済による募金の利用促進
- ・SNSを活用した広報手法の研修実施と実践展開
- ・SNS広告を活用した潜在層への情報発信
- ・全国の共同募金会と連携した「重点助成分野」による活動のPR
- ・遺贈や相続寄付に係る山口県版パンフレットの改訂及び広報啓発

2 地域ニーズを反映した助成の確立

効果的な助成に向け、地域ニーズを的確に把握するとともに、助成団体に配分委員会における意見や助言等をフィードバックし、活動の充実に向けて支援します。また、助成団体の活動状況や成果を写真や動画等によりわかりやすく可視化し、共同募金の理解促進に努めます。

- ・取組の促進が特に必要とされる課題に重点的に助成を行う「特別助成プログラム」の実施
- ・地域住民のニーズに即した助成プログラムの開発を行う「赤い羽根 住民の「解決したい！」を応援するプロジェクト」（中央共同募金会モデル事業）の実施
- ・企業等と連携し、特定のテーマを掲げて募金と助成を一体的に行う取組の検討
- ・中央共同募金会の特設サイトでの動画による本会助成団体の取組紹介

3 参加と協働による組織運営の確立

共同募金運動の一層の推進に向け、地域課題への的確な対応を行うため、地域福祉を推進する県社会福祉協議会及び市町共同募金委員会事務局を担う市町社会福祉協議会との連携・支援のさらなる強化を図ります。また、自治会、民生委員児童委員協議会をはじめ、様々な関係団体と協働して、共同募金運動の活性化に取り組みます。

- ・第7次福祉の輪づくり運動推進県域活動計画を推進するための「特別助成プログラム」の実施
- ・地域助成財源の確保（原則として一般募金額の6割以上）
- ・市町共同募金委員会と連携した「特別助成プログラム」や「住民の「解決したい！」を応援するプロジェクト」の実施
- ・市町共同募金委員会訪問調査の実施

4 県共同募金会の運営

本県における共同募金運動を一層推進するため、本会の円滑かつ効果的な運営に努めます。

- ・職員の資質向上に向けた研修等への積極的な参加
- ・助成申請のオンライン化による事務の効率化
- ・赤い羽根共同募金運動80周年記念会長特別表彰・感謝の実施